



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <http://www.saturn.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大井 典雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	12,878	2.3	568	24.4	586	24.2	378	26.5
30年3月期第3四半期	13,179	2.7	751	37.4	774	34.8	515	37.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 377百万円 (27.2%) 30年3月期第3四半期 517百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	110.24	
30年3月期第3四半期	148.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	10,974	7,839	71.4	2,290.16
30年3月期	10,591	7,597	71.7	2,194.08

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 7,839百万円 30年3月期 7,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		11.00	11.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,972	2.9	1,041	2.4	1,058	0.5	716	4.6	207.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	4,216,000 株	30年3月期	4,216,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	792,698 株	30年3月期	753,439 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	3,436,442 株	30年3月期3Q	3,479,417 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、地震、台風等の自然災害が相次いだ影響はあるものの、企業収益や雇用環境の改善等により、緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、米国の強硬な通商・外交政策による貿易摩擦の拡大懸念やEU諸国の政治動向、地政学的リスクの高まり等から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、相次ぐ地震や台風等の災害の影響により、公共工事、住宅建設及び観光は減少しているものの、個人消費は持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は着実に改善しております。

医療業界におきましては、増加し続ける医療費を背景に医療制度の改革が進められており、診療報酬の改定による技術料及び薬価の引き下げの影響等、当社グループを取り巻く経営環境の厳しさは継続しております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、継続的な企業価値の向上を実現すべく、各事業において新規顧客の獲得や新規調剤薬局店舗の開局、サービス品質の向上に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,878百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益568百万円（同24.4%減）、経常利益586百万円（同24.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益378百万円（同26.5%減）と減収減益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、全般的に顧客との取引が堅調に推移したことに加え、新規に顧客を獲得したことから、売上高4,403百万円（同2.6%増）、セグメント利益259百万円（同12.9%増）と前年同期を上回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規に調剤薬局を2店舗開局しましたが、診療報酬の改定により技術料及び薬価の引き下げの影響から、売上高7,799百万円（同5.3%減）、セグメント利益523百万円（同31.8%減）と売上、利益共に前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、福祉用具の販売・貸与が前年同期を上回りましたが、大型備品の販売が前年同期を下回ったことから、売上高591百万円（同0.1%減）とほぼ前年と同水準となりましたが、セグメント利益2百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）と前年同期を上回りました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高84百万円（前年同期比54.0%増）、セグメント利益66百万円（同74.8%増）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,808百万円となり、前連結会計年度末に比べ398百万円増加（前連結会計年度末比5.4%増）いたしました。これは主に商品が241百万円、現金及び預金が120百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少（同0.5%減）いたしました。これは主に建物及び構築物が107百万円、投資有価証券が35百万円それぞれ増加しましたが、工具、器具及び備品が76百万円、建設仮勘定が74百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は10,974百万円となり、前連結会計年度末に比べ383百万円増加（同3.6%増）いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,870百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円増加（同5.2%増）いたしました。これは主に未払法人税等が201百万円、賞与引当金が84百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が358百万円増加したことによるものであります。固定負債は263百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少（同0.5%減）いたしました。これは主に長期未払金が4百万円、リース債務が3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,134百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円増加（同4.7%増）いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円増加(同3.2%増)いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益378百万円及び剰余金の配当38百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.4%となり、前連結会計年度末比0.3ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は2,290円16銭となり、前連結会計年度末比96円08銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、下期の業績動向を精査中であることから、平成30年5月11日に公表しました数値を据え置いております。

今後の業績の動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,056,776	4,176,797
受取手形及び売掛金	2,767,112	2,767,828
商品及び製品	464,636	705,881
仕掛品	7,742	8,036
原材料及び貯蔵品	56,626	75,145
その他	89,189	100,409
貸倒引当金	△31,883	△25,875
流動資産合計	7,410,199	7,808,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,075,665	2,199,678
減価償却累計額	△1,296,462	△1,312,846
建物及び構築物(純額)	779,203	886,831
機械装置及び運搬具	36,673	41,261
減価償却累計額	△33,211	△35,169
機械装置及び運搬具(純額)	3,461	6,091
工具、器具及び備品	2,767,694	2,791,704
減価償却累計額	△2,333,265	△2,434,201
工具、器具及び備品(純額)	434,429	357,502
土地	1,052,372	1,042,844
リース資産	65,040	60,537
減価償却累計額	△29,406	△28,238
リース資産(純額)	35,633	32,298
建設仮勘定	74,320	—
有形固定資産合計	2,379,421	2,325,569
無形固定資産		
その他	83,894	62,045
無形固定資産合計	83,894	62,045
投資その他の資産		
投資有価証券	132,901	168,685
長期前払費用	32,413	31,126
差入保証金	252,121	258,991
繰延税金資産	172,057	176,246
その他	145,177	160,757
貸倒引当金	△17,040	△17,090
投資その他の資産合計	717,631	778,717
固定資産合計	3,180,947	3,166,332
資産合計	10,591,147	10,974,555

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,066,895	2,425,088
リース債務	10,831	10,715
未払法人税等	241,970	40,570
賞与引当金	114,997	30,049
未払金	99,660	76,319
資産除去債務	2,900	—
その他	191,886	288,228
流動負債合計	2,729,142	2,870,972
固定負債		
リース債務	29,229	25,908
役員退職慰労引当金	68,165	73,990
退職給付に係る負債	19,548	20,545
長期未払金	140,994	136,547
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,930	4,668
固定負債合計	264,869	263,659
負債合計	2,994,012	3,134,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	6,109,905	6,450,656
自己株式	△537,007	△633,162
株主資本合計	7,571,518	7,816,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,617	23,808
その他の包括利益累計額合計	25,617	23,808
純資産合計	7,597,135	7,839,923
負債純資産合計	10,591,147	10,974,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	13,179,768	12,878,280
売上原価	9,115,426	8,975,934
売上総利益	4,064,341	3,902,346
販売費及び一般管理費	3,312,510	3,333,982
営業利益	751,831	568,363
営業外収益		
受取利息	531	401
受取配当金	2,958	4,890
受取賃貸料	34,097	37,446
その他	19,940	19,907
営業外収益合計	57,527	62,645
営業外費用		
支払利息	1,141	1,184
賃貸収入原価	32,896	34,970
その他	686	7,973
営業外費用合計	34,723	44,129
経常利益	774,635	586,880
特別利益		
固定資産売却益	1,233	460
特別利益合計	1,233	460
特別損失		
固定資産売却損	—	1,799
固定資産除却損	581	749
会員権評価損	—	50
減損損失	1,737	11,158
特別損失合計	2,318	13,757
税金等調整前四半期純利益	773,549	573,582
法人税等	257,991	194,743
四半期純利益	515,558	378,839
親会社株主に帰属する四半期純利益	515,558	378,839

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	515,558	378,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,401	△1,808
その他の包括利益合計	2,401	△1,808
四半期包括利益	517,959	377,030
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	517,959	377,030
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年6月26日開催の取締役会決議に基づく自己株式39,200株の取得及び単元未満株式59株の買取りを行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が96,154千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が633,162千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,293,391	8,239,930	591,799	13,125,121	54,646	13,179,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	468,238	468,238	883	469,122
計	4,293,391	8,239,930	1,060,038	13,593,360	55,530	13,648,890
セグメント利益又は損失 (△)	229,761	767,713	△896	996,578	37,982	1,034,560

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	996,578
「その他」の区分の利益	37,982
セグメント間取引消去	13,361
全社費用(注)	△296,091
四半期連結損益計算書の営業利益	751,831

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,403,079	7,799,981	591,086	12,794,146	84,133	12,878,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	476,145	476,145	607	476,753
計	4,403,079	7,799,981	1,067,231	13,270,292	84,741	13,355,033
セグメント利益	259,309	523,963	2,363	785,636	66,377	852,014

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	785,636
「その他」の区分の利益	66,377
セグメント間取引消去	8,786
全社費用(注)	△292,436
四半期連結損益計算書の営業利益	568,363

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。